

【NEWS RELEASE】

2026 年 10 月 1 日

各 位

株式会社三井住友銀行

生成 AI の安全・安心な活用拡大に向けた AI ガバナンスソリューションの導入について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、生成 AI を活用したサービスや業務のさらなる拡大に向け、安全性と信頼性を継続的に高める AI ガバナンスソリューションを導入します。本取組では、株式会社 Citadel AI（代表取締役：小林 裕宜）のソリューションも活用しながら、リスク検証の標準化、継続的なモニタリング、ガードレール機能を備えた共通基盤を整備し、全社的な AI ガバナンスの高度化に繋げていくものです。

1. 背景

近年、生成 AI の急速な進化を受け、金融機関においても、お客さま向けサービスや社内業務への活用が広がっています。三井住友銀行は、2024 年に制定した「責任ある AI ポリシー」に基づき、安全性と信頼性を確保しながら、生成 AI を活用した新たなお客さま体験の創出や業務の高度化を進めてきました。その一例が、お客さま向け照会サービスとして初めて生成 AI を活用した「SMBC AI オペレーター」です。Olive に関する一般的なお問い合わせのうち、7 割超が有人オペレーターを介することなく完結するなど、生成 AI を活用した取組実績を積み重ねています。

今後、生成 AI をお客さま向けサービスや幅広い業務で、より一層活用していくためには、安全性と信頼性を継続的に評価し、その結果を改善する仕組みが重要となります。三井住友銀行は、この仕組みを全社共通の基盤として整備することが、AI 活用の質とスピードの両立に繋がると考えております。

2. 概要① 共通の評価基準によるリスク検証の標準化

生成 AI に関するリスクを統一的に評価するため、全社共通の評価指標やテストデータを整備します。共通の評価基準をベースに、業務やサービスの特性に応じた必要な評価を組み合わせることで、効率的かつ実効性のあるリスク検証を行います。

② 一元的な検証プロセスによるリスク管理の高度化

三井住友銀行では、AI アプリケーションのリリース前に加え、リリース後も、安全性、法的・倫理的観点、セキュリティなど、一定の評価基準を満たしているか継続的に検証を行います。リスク評価レポートの自動生成に AI ガバナンスツールを活用し、AI の安全性・信頼性を可視化することで、利用可否や継続利用を適切に判断するための客観的な証跡を得られるようにします。

③ リアルタイム制御に対応する共通基盤の整備

稼働中の AI アプリケーションと連携し、AI への入力（プロンプト）と AI からの回答をリアルタイムで監視します。機密情報を引き出そうとする有害な入力や安全性に欠ける不適切な回答などを検知した際、即時にブロックまたはアラートを発報するガードレール基盤を整備します。

3. 今後の展望

三井住友銀行は、生成 AI の活用領域の拡大に合わせて、リスク検証の運用を標準化し、今後もお客さまの安全・安心を最優先に、新たな価値の提供と業務の高度化に取り組んでまいります。

【ご参考】

株式会社 Citadel AI は、「AI に信頼をあたえる」をミッションとする、日本発のグローバルスタートアップです。Google 米国本社出身の最高技術責任者（CTO）をはじめとするエンジニア陣が、金融・医療・製造・人材などの大手企業向けに AI ガバナンスソリューションを開発・提供しています。

以 上